



平成 21 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社森精機製作所
代表者名 取締役社長 森 雅彦
(コード 6141 東証・大証第 1 部)
問合せ先 広報部
ゼネラルマネージャー 柳原 正裕
(TEL. 052 - 587 - 1811)

(株)森精機製作所へのソニーマニュファクチュアリングシステムズ(株)の 計測機器事業譲渡に関する「意向確認書」を締結

株式会社森精機製作所(以下「森精機」)とソニー株式会社(以下「ソニー」)は、ソニーの 100%子会社であるソニーマニュファクチュアリングシステムズ株式会社(以下「SMS」)の主として伊勢原事業所において運営されている計測機器事業(マグネスケール、レーザスケールにかかる事業)及びこれに関連するソニーの他の子会社における生産・販売事業を森精機が譲受することについて、本日、両社の意向を確認する「意向確認書」を交わしましたので、お知らせいたします。今後、法的拘束力を有する契約を平成 21 年(2009 年)12 月末に締結したうえ、本事業譲渡を平成 22 年(2010 年)3 月末に実施することを目標に、両社で協議してまいります。

譲渡金額は 60 億円を目処に協議を進めることで合意していますが、この金額は今後のデューデリジェンスにより調整される可能性があります。本事業譲渡は会社分割その他の方法により行われる予定です。なお、本事業譲渡は、各国関連当局の承認等の取得が必要となる場合には、その取得を条件として実施されます。

記

1. 本事業譲受の理由

森精機は、外部から磁気技術を応用した計測機器(「マグネスケール」)を調達しておりましたが、今後は、内部に取り込むことにより、工作機械の精度向上を一段と推進するとともに、量産によるコスト低減を図り、競業他社との差異化を実現します。さらに、レーザ技術を応用した計測機器(「レーザスケール」)の技術開発を強化することにより、工作機械への応用を進め、次世代の超精密工作機械分野での競争優位を確立してまいります。森精機は、今回、SMS から計測機器事業を譲り受けることにより、外販を含めた計測機器事業をさらに発展させてまいります。

SMS の計測機器事業は、昭和 44 年(1969 年)にマグネスケールからスタートしました。現在ではレーザスケールの開発により、ピコレベルの測定を実現し、最先端の超精密加工設備の位置制御などに採用されています。今回の計測機器事業の譲渡により、SMS は実装機、金型作成などの事業に経営リソースを集中いたします。

2. SMS の概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 商号 | ソニーマニュファクチャリングシステムズ株式会社 |
| (2) 代表者 | 代表取締役社長 須藤 博 |
| (3) 所在地 | 埼玉県久喜市清久町1番10号 |
| (4) 創業年月日 | 昭和44年(1969年)8月1日 |
| (5) 主な事業内容 | マグネスケール、レーザスケール、電子部品装着機、
クリームはんだ印刷機、基板外観検査機などの開発、製造、販売 |
| (6) 決算期 | 3月 |
| (7) 従業員数 | 671名(平成21年(2009年)11月1日現在) |
| (8) 事業所 | 伊勢原事業所(神奈川県伊勢原市)
久喜事業所(埼玉県久喜市) |

3. 業績への影響

会社分割を含む本事業譲渡の実施により、SMS から分割された計測機器事業を営む法人は、平成 22 年(2010 年)3 月末に森精機の 100%連結子会社となる予定です。なお、森精機及びソニーのそれぞれの今期連結業績の見通しに与える影響は軽微です。

以 上